

11月28日（土曜日）

初日、最初の目的地は郡山市にあるJA農産物流通所「愛情館」です。震災後の農産物の検査状況を聞き、農家でも県でも農産物直売所でも検査をし、完全に安心・安全と言える3重の検査体制について学びました。試食コーナーでは様々な品種の林檎を味わうことができ、参加者は初日にも関わらず気に入った林檎や苺、野菜などを買っていました。



昼食は三春ハーブガーデンに移動し、レストランSARARAでランチビュッフェをいただきました。地元の農家さんから届けられる新鮮な野菜を使ったヘルシーなメニューに、参加者は出発時間ぎりぎりまで珍しいメニューに驚き、満腹になるまで楽しみました。



午後は白河市に移動し、福島県文化財センターまほろんで「被災文化財復興展」の見学をしました。相双地方で被災した文化財の救助・現状の説明を受けたのですが、日本の文化・歴史に興味のある参加者が多く、熱心に聞き入っていました。更に地域のお祭りや相馬野馬追など、担当者に質問している参加者もいました。その後僅かな自由時間でしたが、別の展示を見たり、外の縄文式住居を見学したりする他、縄文文化体験「火おこし」を体験した参加者が多く、とても盛り上がりました。（火が着いたのは5人くらい）



次の見学地は、白河市の南湖公園です。日本最古の庭園と言われる翠楽苑を散策し、茶室で呈茶（茶道体験）を体験しました。自由時間は、南湖神社でおみくじをひき、お神酒を飲んでいたり、湖の写真を撮り風景を楽しんでいた人、名物の南湖だんごを食べていた人など思い思いに楽しんでいました。



その後、同じく白河市にある渡邊だるま総本舗さんで、だるまの絵付け体験をしました。白河だるまの特徴を説明し、色毎の意味（願い）を説明してもらい、小だるま2個、赤だるま1個に時間いっぱいまで色を付け、良い経験になりました。たくさんのカラフルなだるまが生み出されました。お土産となり、参加者のお家に飾られていることと思います。



11月ツアーの宿泊先は、いわき湯本温泉「古滝屋」です。2日目の見学先はいわき方面のため、夜の内に移動します。元禄彩雅館 古滝屋は歴史のある温泉旅館で、震災後完全に復旧はしておらず、夕食のみ居酒屋と提携しています。JETスタディーツアーの一行は、夕食時宴会場をお借りし、意見交換会を開催しました。2日目の予定の説明、スタディーツアー1日目の感想、福島県の復興について思うこと等、夕食を取りながら語り合いました。



11月29日（日曜日）

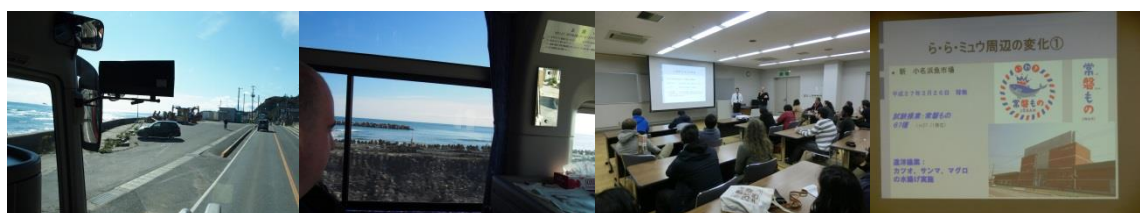
2日目、やはりJET参加者は温泉が好きなのか、遅くまで露天風呂に入っていたグループ、参加者同士で交流を深め遊びに出掛けたグループなどがあり、朝食後、予定ぎりぎりの出発となりました。丁寧にもてなしていただいた古滝屋さんでの夜を満喫したようです。

最初の目的地は、遠野地方にある「遠野 オートキャンプ場」です。遠野和紙の紙漉き体験をさせていただきました。和紙の原料となる楮のことや、和紙の作り方など、参加者は熱心に話を聞き、紅葉と自分の名前が入った和紙を完成させました。



和紙の乾燥を待つ間、天気も良く暖かかったので、参加者はオートキャンプ場を散歩したり、雄大な山々の写真を撮るなどしていました。

和紙が完成し、次の目的地はいわき ら・ら・ミュウです。途中、復興工事中の豊間・薄磯海岸を見学します。バスの中で、震災前の海岸・震災直後・復興工事完成図の写真を見てもらいながら海岸線を走りました。仮設住宅と仮設の商店街も通り、津波の凄まじさと、復興に向けて休日も働いている「福島」を感じ、参加者に復興の歩みを考えてもらいました。



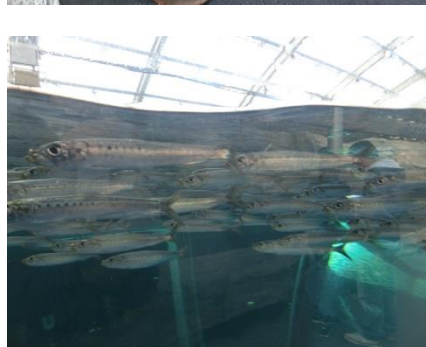
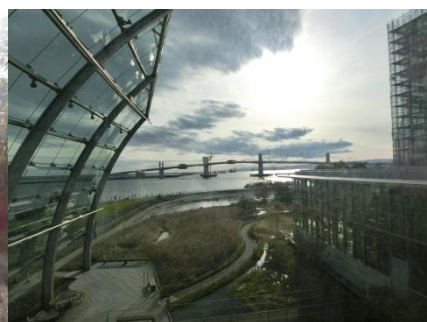
ら・ら・ミュウに到着し、まずDVDで「復興の歩み」の説明を受けました。施設の再開と、風評被害による観光客の落ち込みから回復まで、参加者は熱心に耳を傾けていました。説明を受けた後、同じフロアで開催されている『いわきの東日本震災展』『福島洋上風力 交流センター』を見学しました。震災時、体育館に段ボールで仕切りを作り生活していた様子（その段ボール）などの展示から、安全な再生可能エネルギーである浮体式洋上風力発電に転換していったいわきの復興について学ぶことができました。



見学後は、同じくら・ら・ミュウの中にある「魚屋さんの海鮮レストラン いちよし」さんで「海鮮丼」をいただきました。日本ほど生の魚介類を食べる国はそれ程無く少し不安もあったのですが、世界中で寿司が人気なこともあり、心配をよそに参加者は新鮮な海鮮丼を完食！！美味しくいただきました。



最後の見学地は「海洋環境水族館 アクアマリンふくしま」です。最初に「震災ガイドランス」として、震災時の状況から復興（再開）までの説明を受けました。その後、館内を見学させていただいたのですが、「ここを見て欲しい」というお勧めポイントも教えていただきました。最終目的地で、終了時間が迫っていたため、もっとゆっくり見たかった参加者もいたと思います。皆写真を撮り、中には「あくあまりん えっぐ」で海釣り体験をし、釣り上げた鯵を食べた参加者もいました。





無事、全員がバスに集合し、全ての行程が終了となりました。11月のツアーは1泊2日と短かったのですが、過去最多数の24名に参加していただき、充実したスタディーツアーとなりました。例年2回開催しているスタディーツアーですが、今年度は「別の仕事が入り予定が合わなかった」「定員いっぱいになってしまった」などで参加しなくてもできなかった方が多数見受けられました。そこで、要望の多かった「相双地方」をメインにしたスタディーツアーを2016年2月に開催するべく準備中です。JET参加者の皆さん、「福島」をもっと良く知るためにスタディーツアーに是非ご参加ください。また、どんどんホームページやSNSで情報発信をしてください。

最後になりましたが、ご協力いただきました見学先の皆さま、本当にありがとうございました。参加者にとって、スタディーツアーとして「福島を学ぶ」だけでなく、とても楽しく思い出に残る良い経験になったと思います。